

2020年 9月 13日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②村山けい子姉

賛 美 聖歌232番 & ～イエスは愛で満たす～

十 戒

聖 書 ヘブル人への手紙11章13～16節

特別賛美 ①②エタニティ / ③④サラ・ナオミ会

メッセージ 「天のふるさとに向かって」

石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番 「Amazing Grace」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～生ける限り主を賛美し～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

★共に礼拝をお捧げできる恵みを感謝します。神の守りと助けを祈ります！

☆今週の祈り会は、○早天祈祷会：月曜朝6時。○木曜祈祷会：10時半・19時半（大和の祈祷会の映像を用います）。○準備祈祷会：土曜夜8時。

★今週木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。

☆来週の日曜礼拝も4回行います。聖餐式が行われます。大切に致しましょう！

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [9/13-20]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	雅歌5 －8章	ローマ 1－3章	4－ 7章	8－ 10章	11－ 13章	14－ 16章	1コリント 1－4章	5－ 8章
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

「天のふるさとに向かって」

～信仰のレース、バトンを握り直す～

「これらの人々は皆、信仰のためにこのようにしたが、この地上では報いらしいものは何一つ受けなかった。しかし、神は私たちのために、さらにすばらしいものを天に用意しておられるが、それは彼らとても同じである。」ヘブル11章39-40節〔現代訳〕

11章から、このヘブル書のテーマである「信仰」についての結論が語られ始めます。

「…信仰とは将来に起ることを確かなものとしてつかむ手であり、まだ見ていないものの確実な証拠を見る目である」「信仰が無ければ、神に喜ばれる[受け入れられる]ことはできない。神のみものとして来る人はだれでも、神が存在することと、神は求める人に必ず答えてくださることを信じることができる」〔現代訳聖書1節・6節〕。

11章全体には、聖書に登場する人物たちが「信仰」によって生きたことが記されていますが、それぞれの人物は全く異なる環境の中で自分の人生を生きました。しかし、彼らがその状況に立ち向かう中で同じ目に見えない神様を意識して生きていきました。その当時、彼らには聖書も、宗教も、教え導く教師もいない中で、直接神ご自身を味わいました。神は語り、奇跡を起こし、その一人一人の人物と共に歩んで下さいました。

現代に生きる私たちも、すべての人々がそれぞれの人生を生きています。今世紀に生まれ、日本人として生き、親は、家族は、親戚は…、その環境は自分で選択したわけではなく、すべては与えられたものです。その与えられた環境の中で、私たちはどうにかして生きています。それは、ある意味では、分からない、ありのままの環境を信仰によって受けとめて生きていると言えるのではないかと思います。

しかし、そこには偉大な神様の御計画があり、その神様が私たち一人一人をご存知であり、その人生の環境もよくご理解されて、私たちに最善をお与えになっておられるのです。

そして、私たちの人生は、永遠の天にあるふるさとに向かって進んでいます。しかし今、この地上では、信仰のバトンを与えられた者として、自分の人生のコースを走っているのです。

「…私たちは信仰によって生きたこんなに多くの人たちが、ちょうど競技場の観覧客のように私たちを見ているのだから、私たちの信仰生活という競走を一生懸命やろうではないか。それには、すべて邪魔になるものと、からみつく罪をかなぐり捨て、神の定めておられるコースを、忍耐して走り通さなければならない。また、私たちの心をそらすものから目を背け、私たちに信仰を与え、また、私たちの信仰を完成してくださるイエスを仰ぎ見なければならない。イエスは、私たちを救うために、あの十字架に喜んで付いてくださった。そして、今は神の御座に着いておられる。12章1-2節〔現代訳〕」自分に与えられた人生というレースを主イエス様と共に走り抜いていきたいと願います。お互いのためにお祈りいたしましょう！